



市長の説明に耳を傾ける市民の皆さん

「タウンミーティング」がスタート

市民の皆さんの声を市政に反映させる手段として、市民の皆さんと市長が直接対話する「タウンミーティング」を校区別に開催しています。

6月13日に旧大谷小学校で行われたタウンミーティング初日には、約40人の市民の方が参加しました。はじめに、養父市の目指すまちの将来像や市政運営の重点項目、市の厳しい財政状況、行政改革の取り組みなどについて市長が説明。

その後、参加者から、「来年4月に旧大谷小学校跡地に開校予定の広域通信単位制高等学校について、概要など地元には十分な認識がないので説明をしてほしい」、「合併後、町民旅行など住民同士の心のふれあいが持てる機会が少なくなった。明るい人間関係が構築できる行政を進めるべきではないか」など、活発な意見や質問が出されました。

念願の「浅野バイパス」開通

6月30日、主要地方道養父朝来線・浅野バイパス（延長998m、幅員11・5m）の開通記念式典が行われ、同日から供用が開始されました。

主要地方道養父朝来線は、養父市十二所と朝来市物部を結び延長27kmの幹線道路ですが、一部区間で幅員が狭く、自動車のすれ違いが困難な箇所がありました。兵庫県但馬県民局では、これを解消するとともに、現在整備中の北近畿豊岡自動車道の開通に伴い交通量の増加が予想されることから、平成14年度から浅野バイパス整備事業に着手しました。

同バイパスの開通により、道路交通の安全が確保されることにも、観光産業などの活性化に寄与することが期待されます。なお、本事業の総事業費は約10億円です。



開通を祝って渡り初めをする住民の皆さん



私立高等学校の設置について審議する委員

私立学校審議会を設置

学校設置会社による私立学校の設置について調査・審議する養父市私立学校審議会の第1回目の会議が6月5日、市役所本庁舎で行われました。

はじめに、梅谷市長から教育関係有識者や地域代表者など6人に対して委嘱状が交付され、会長に波多野進さん（京都学園大学学長）が選出されました。その後、市長が審議会に対して、来年4月に旧大谷小学校跡地に開校予定の広域通信制高等学校の設置について諮問しました。

この日の審議会では、同校の誘致に至る経緯や概要を確認した後、開校予定地を視察して閉会しました。今後、継続して審議され、11月中旬をめどに市に対して答申される予定です。